

「南小樽駅周辺地区バリアフリー基本構想(素案)」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

1 意見等の提出者数	2人
2 意見等の件数	6件
3 上記2のうち計画等の案を修正した件数	0件
4 意見等の概要及び市の考え方	

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	南小樽駅において、列車が駅に停車している時間が短いと感じる。病人が、余裕をもって乗降できる程度の停車時間の確保を望む。	南小樽駅周辺地区のバリアフリー化を促進するにあたっては、段差の解消など物理的なバリアフリーに向けた取組みのほか、バリアフリー化の重要性や高齢者・障害者等に対する理解を深め、行動につなげる「心のバリアフリー」を推進することも重要であると考えています。 本構想においても、第8章第1項「行政・施設管理者・市民の役割」で、施設利用者の意向を把握し、高齢者や障がい者などの移動や行動に対する支援を積極的に行うこととしていますので、素案のとおりいたします。 なお、鉄道事業者では、車いすをご利用の方、病気や障害をお持ちなどの方で、列車の乗降に時間を要する場合には事前に駅員に申し出ていただくことにより、乗降時のお手伝いをすることが可能となっています。
2	小樽市立病院から生協南小樽店、南小樽市場及び潮陵高校に至る道路について、冬期の砂まきの実施を望む。 なお、この点に関し、駅での掲示等により通学中の学生に協力が得られるよう呼びかけを行うと、バリアフリーに対する啓発にもなりよいのではないかと。	南小樽駅周辺地区のバリアフリー化を促進するにあたっては、冬期における対策も重要な課題と認識しております。 本構想においても、第6章第3項「冬期の課題への対応方針」で、砂まきなどのつるつる路面对策の推進により歩行環境の向上に努めることとしていることや、市民による砂まきボランティアへの参加などにより、冬期のバリアフリー環境の改善を目指すこととしていますので、素案のとおりいたします。
3	道路(車道、歩道)の破損箇所について、市民からの通報により、速やかに修繕が行われるような体制の確立を望む。	道路の維持管理につきましては、管理者である市、北海道及び国において破損などに関する情報を随時受け付けており、修繕等につきましても、可及的速やかに実施しているところですが、より一層情報提供していただけるよう、情報の提供先や方法などについて周知に努めてまいります
4	南小樽駅において列車とホームの間を移動するときに、怖い思いをすることがある。ホーム等の改善を望む。	
5	南小樽駅等を改修する際には、駅周辺にある桜が保存されるよう望む。	本構想は、南小樽駅周辺地区において、面的・一体的にバリアフリー化を促進するための整備方針や整備の目標時期など、基本的な事項を定めているものであることから、ご提言につきましては、同地区でバリアフリーを進めるにあたり、各施設の具体的な整備内容を検討する際の参考意見とさせていただきます。
6	「南小樽駅及びバス停留所」と「小樽市立病院」との間付近では、道路を横断する人が少なからずいることから、同地点に横断歩道と信号機の設置を望む。	

* 同じ内容の意見が複数ある場合は、「意見等の概要」の最後に件数を記載してください。

* 計画等の案を修正した場合は、「市の考え方等」の欄に修正箇所を併せて記載してください。